



学校だより

桐里っ子 HP版

須坂市立井上小学校

平成28年5月13日

文責：校長 宮坂

なかよし旬間（5/9～20）全校縦割り「なかよし班」活動開始！

なかよし旬間は春と秋の二回です。もちろん1年中「なかよし」について考え、学習していますが、この時期は特に全校で「なかよし」について考えたり活動したりする期間です。春の旬間には井上小学校が大事にしている「全校縦割りなかよし班」の活動が開始しました。1年生から6年生までの一班10人前後の班で、6年生のリーダーを中心に、なかよしタイムに遊んだり、なかよし清掃に取り組んだりします。学級でも、それぞれ人間関係づくりに重点をおいた活動や学習を行っていきます。ふわふわ言葉を見つけたり、標語やポスターをかいたりする学習もします。

5/9～13は給食週間 10日には春の交通安全教室を実施

キーワードは「いのち」です！

日頃よりご家庭の皆様はもとより、地域の皆様にもしっかり見守り声かけをしていただいております。ありがとうございます。危険な歩き方や自転車乗りなどについても、我が子だけでなく地域の子もたちみんなを我が子のように指導していただき感謝です。

学校では春・秋二回の交通安全教室を実施。今回は1～2年は安全な歩行、3年～6年は安全な自転車乗りについて学習しました。（詳細は内面の特集をご覧ください）命を守る安全学習に「これでもういい」はありません。一人一人が自分に合った安全な歩行や走行を身につけましょう

そこで…11日（水）校長講話は「共に生きる」をテーマに。

中心に扱ったのは絵本『しんでくれた』佼成出版社＝詩人谷川俊太郎さんの詩に絵をつけた本です。概要をお知らせします。

僕がいます。でも僕は一人では生きられません。此の世の中には男の人も女の人も、お年寄りもいます。健康な人もいれば、体や体の中に障がいをもって不便な暮らしをされている方もいます。みんないっしょに助け合って、それぞれの良さをいかし合いながら生きています。共に生きる社会はまだ広がります。この地球にいるのは人間だけじゃない。ライオンや象、鳥や昆虫、魚だってタコだって、みんな生きもので、いっしょに生きています。野菜や果物、草、みんなこの地球で共に生きている生きものです。「僕」だけで生きて行かれないように、人間だけでも生きて行かれません。その答えを今からこの絵本でお話しします。（読み聞かせをしました）

皆さんのいのちは、自分だけでできているわけではありません。人間は自分で栄養をつくれなくて、たくさんの生きものに助けられているからです。いろいろな生きものを食べないでいると、人間はいきていけません。だから心をこめて、「いただきます」。そして「死んでくれた」たくさんの生きもののいのちが無駄にならないように「残さず食べます」。そして、しっかり食べたら感謝の気持ちをこめて「ご馳走様でした」。私たち人間は、たくさんのいのちをもらっているから、しっかり食べることで、そして体も心も脳みそもしっかり育てて、いつまでも生きものみんなが「共に生きる」地球を守っていく使命があります。そこは人間にしかできないことだから。

さあ、今日もしっかりご飯を「いただきます」。しっかり食べて「明日の日本の力」を育てましょう。これで今日のお話はおしまいです。

※連休前後「こつこつ貯金カレンダー」の取り組みを始めました。早寝・早起きの生活リズムや生活習慣の定着、さらに太陽を浴び風を感じる「外遊び」の習慣化をめざしています。ご協力ありがとうございます。